



日本栄養改善学会

THE JAPANESE SOCIETY OF NUTRITION AND DIETETICS

科学的根拠に基づく 実践栄養活動を目指すために

日本栄養改善学会（The Japanese Society of Nutrition and Dietetics）は1954年（昭和29年）に最初の学術集会を開催して以来、栄養改善に関する研究と実践活動を推進してきました。学術研究の推進に加え、病院、福祉・介護施設、学校、保育所、給食施設、外食・食品企業、行政等の現場において栄養学を基盤とした実践活動を行うことにより、栄養学の学術研究と実践活動の連携を目指しています。本学会では全国や支部の学術集会、栄養学雑誌、各種セミナーを実施しています。研究や業務で必要な最新の情報を得たり、語り合ったり、研究発表してみませんか。（日本学術会議協力学術研究団体）

学会に入会すると……



最新情報が得られる

会員ページやメルマガから実践栄養学活動の最新情報が得られます



学会発表・投稿をサポート

実務者の会員を対象にした実践栄養学研究セミナーが開催されます



ネットワークづくり

学生会員を含めた若手研究者のネットワークづくりができます



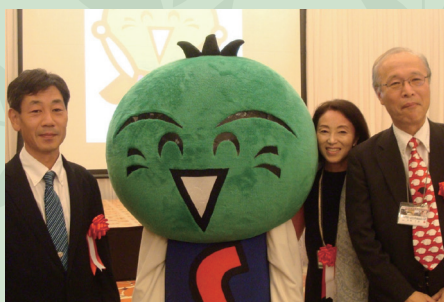
国際学会参加割引

国際栄養学会議・米国栄養教育行動学会の参加費割引特典が受けられます

日本栄養改善学会の取組み

学術集会の開催

毎年3日間にわたり、約2,000人が参加して開催されます。日頃の研究成果や実践活動を発表し、またシンポジウムなどでは活発なディスカッションを行っています。さらに、地方支部会においても毎年開催されます。



学会誌「栄養学雑誌」発行

栄養学・健康科学および栄養実践活動に関する論文や資料等を掲載し、科学的根拠の蓄積とその情報を提供する目的で年6回発行しています。また、学会員の学術情報の交流の場としての役割も果たしています。



実践栄養学研究セミナー

病院、福祉施設、学校、行政等における栄養業務に関する取り組みを学会発表や論文とするための学習講習会を開催しています。主に大学に所属する学会会員が講師を務めています。



健康な食事・食環境の推進

栄養・健康科学に関連する13学会等でコンソーシアムを形成し、外食・中食・事業所給食で、栄養バランスのとれた通称「スマートミール」を適切な情報と共に提供している飲食店や事業所を認証する等、誰もが自然に健康になれる食環境整備を推進しています。



管理栄養士・栄養士の栄養学モデル・コア・カリキュラムの作成

厚生労働省から委託を受け管理栄養士・栄養士養成課程において必須である教育内容を検討しモデル・コア・カリキュラムを作成し提案し、その有効な活用方法について実証を行いました。現在、全国の管理栄養士・栄養士養成課程の学校で広く使用されています。



出版事業

管理栄養士養成のための栄養学教育モデル・コア・カリキュラム準拠教科書シリーズ（第1巻から第12巻）、「食事調査マニュアル」、「初めての栄養学研究」等を発行し、多くの管理栄養士養成課程の学生や栄養管理の現場の方に好評頂いています。



皆様のご入会をお待ちしております

年会費

一般会員 7,000円

学生会員 2,500円

日本栄養改善学会
ホームページ



特定非営利活動法人

日本栄養改善学会

TEL 070-3204-7411 FAX 03-5817-8618

E-mail kaizen@jsnd.jp

詳しくは、学会ホームページをご覧ください
右のQRコードを読み取ることもできます
<https://jsnd.jp/index.html>